

②③全国初！いつでも、どこでも、簡単に！ 「徳島県道路占用管理システム」運用開始！！

受賞機関 徳島県 県土整備部 道路整備課

キーワード DX、デジタルガバメント

全建賞審査委員会の評価ポイント

道路占用申請と道路台帳閲覧がオンラインで行えるシステムの構築。GIS情報を活用したデジタル化によるオンライン閲覧システム構築など、監督業務の効率化や窓口業務の改善などに資する点や、電子申請のワークフロー全体を設計・改善した点が道路DXの先進的取組として評価された。

1. はじめに

徳島県では、年間で約4,000件の道路占用申請を全て紙媒体で受付・審査を行っており、道路台帳や附図も紙であることから、窓口対応や審査等に膨大な労力を要していた。

道路関連の行政手続きのオンライン化のためには、道路台帳と道路の位置情報との紐づけが可能なプラットフォームや公印に代わる仕組みが必要であった。

2. 事業の概要

本県では令和2年1月に、通行規制や雨量、河川、ダム等の情報を確認できる新たな県土防災情報システムをリリースしていた。このシステム上で、画像データ化された台帳情報を道路のGISデータと紐づけし、マップ上に重ねて参照できるようにした。

道路占用管理システムはこのシステムと連携し、台帳附図を呼び出し、占用申請したい範囲をウェブ上で描画して、申請に必要な位置図として保存・申請できるようにした。

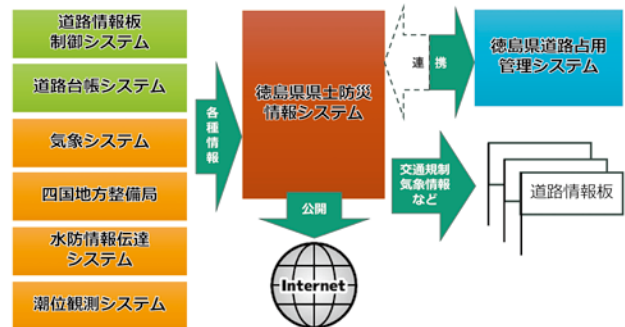
また、公印に代わるものとして、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が運用する地方公共団体組織認証基盤（LGPKI）が発行した職責証明書を用いて電子署名を許可証のPDFファイルに付与し、データの偽造や改ざんを防ぐ仕組みを導入した。

3. 事業の成果

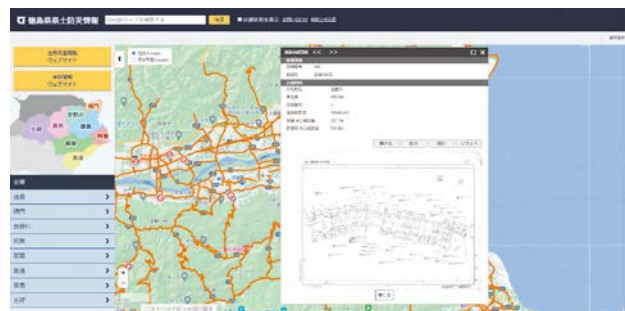
道路台帳のオンライン閲覧や道路占用に係る申請、決裁、採番、許可証発行といった一連のワークフローをペーパーレス化したことにより、窓口業務等にかかる時間を削減できた。

また、許可期限が近付くと申請者へ通知メールが届き、更新の申請漏れを防ぐとともに、過去の申請書類を利用できるようにした。

これにより、政府が提唱する行政のデジタル化3原則のうち、デジタルファースト（一貫してデジタルで完結する）とワンスオンリー（一度提出した情報は二度提出することを不要とする）を可能な限り実現した。



システム構成図



徳島県県土防災情報システムで道路台帳を表示



道路占用管理システムで台帳付図を呼び出し、位置図を作成

4. おわりに

今後は占用物件をシステム上で閲覧できるよう改良を検討するとともに、同システムは道路だけではなく河川や公園等に対しても適用できる可能性があることから、このノウハウを他の業務にも横展開していきたい。